

令和5年5月定例記者会見要旨

開催日時 令和5年5月26日（金）午前11時00分 302会議室

（総務部長）皆さんこんにちは。本日はご参集いただきありがとうございます。
只今より、5月の定例記者会見を開始します。よろしくお願いします。

（市長）皆さんおはようございます。5月1日に就任いたしました、あっという間に約1ヶ月過ぎました。霧ヶ峰の山林火災、地震、大雨など早速いろいろな事象に直面し気が引き締まる思いであります。火災に関しては、昨日、焼失面積166.25haと結果報告がありました。植生につきまして、前回ほどの大きな影響ではなかったということで、少し胸をなでおろしたところであります。

今年の連休（4月29日～5月7日）の観光動向ですが、上諏訪温泉・諏訪湖の入り込みは、20万8,000人、昨年の10日間のデータは21万4,000人弱と比較すると少ないですが、10日に換算すると23万1,000人位で昨年より少し伸びたという見方もできます。高島城につきましては、昨年3,500人余が今年は3,750人余で、こちらは伸びております。間欠泉センターにつきましては、昨年が4,680人余、今年は4,300人余で、10日換算で4,800人位となります。昨年は御柱祭の年で観光客についてはあまり呼び込みをしなかった年でありましたが、コロナが5類に変わる直前の大型連休ということで、皆さんの観光に対する意識も少しずつ高まってきたのではないかと印象を受けております。

お手元に6月のスケジュール表をお配りしております。6月12日（月）に議会を招集いたしました。改選後初めての定例議会であり、私の3期目の施政方針、当初予算では見送りの議案等を含めて上程させていただくことになっております。そして、6月下旬から7月にかけて「ゆかり市長とまちかどトーク」を行います。初回が6月27日（火）で四賀公民館からスタートします。7月の中旬まで計6回開催しますが、今期のテーマ「3期目マニフェストの概要」をお話させていただいた後、各地区（四賀、豊田、中洲、湖南、上諏訪地区）それぞれの皆さんが興味のあると思われる課題に少し重きを置いて意見交換する時間を作りました。四賀地区と中洲地区は南部地区小中一貫校に関する事、豊田地区は諏訪湖スマートインターチェンジの事、湖南地区は新川バイパス整備に伴う社会基盤整備に関する事、上諏訪地区は上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョンに関する事というテーマを設けております。申込み不要ですので、多くの皆さんにご参加いただきたいと期待しているところです。

上諏訪駅周辺まちなか未来ビジョンを策定しました。これを記念し、より深く市民の皆さんに知っていただいたり、どんな賑わいのある街中にしていくのかということと一緒に語る場として、6月3日（土）に「まち歩き・トークイベント」を企画しています。申込みが必要で、50人定員のところ現在30数名の皆さんに申し込んでいただいておりますが、申込者がご高齢の方に少し偏っているのが現状です。若い方々はお仕事や学校などで参加できにくいかもしれませんが、土曜日でもありますので、ご都合が合うようでしたらぜひ幅広い年齢層の方に参加いただけたらありがたいと思っております。

スワンバスをもっと便利にということで、6月1日からスマホ乗車券が販売開始となります。皆様には6月の広報すわに掲載する予定ですが、乗車券のデジタル化ということで、スマホを使って乗車券が購入できるアプリが開始となりますのでご案内いたします。「バスもり！」というスマホのアプリがあります。これを使って、かりんちゃんバスはもう可能なのですが、スワンバスも乗車券を購入できるようになったというお知らせになります。

来月の予定については、6月1日に災害対策本部水防図上訓練があります。2日には知事との県民対話集会が行われます。テーマは「諏訪湖の環境」で、市内の5団体の皆さんと知事とで懇談していただく計画があります。3日は蓼科保養学園100周年記念事業実行委員会がスタートします。4日には、中日本高速道路㈱、サービスエリアのお店などをマネージする中日

本エクスシス㈱との連携と協力に関する協定締結式を行います。諏訪市だけではなく、岡谷市や下諏訪町も共同で調印をすることになります。14日に諏訪湖祭湖上花火大会の大抽選会を行います。18日に諏訪市消防ポンプ操法大会（諏訪市の選考会）、29日に諏訪地区消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会の激励会が行われます。

教育委員会の関係ですが、諏訪市博物館で5月27日から7月17日を期間として、「諏訪湖－自然・人・未来－」というタイトルで特別展を行います。この展覧会は、諏訪湖の成立や変遷にふれながら、漁具などの生業に関わる道具、景勝地として描かれた絵画、湖底曽根遺跡の出土品などを展示し、諏訪湖の多彩な魅力を紹介します。近年実施した収蔵品把握作業で把握できた、収蔵されながら展示公開の機会がなかったものを可能な限り展示するということがあります。専門の方には少し興味をそそる内容だと思っております。また、この展示に関する講演会は、令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金の交付を受けて実施するものです。展示のポイントですが、八剣神社が所有し、当館に寄託してくださっている「御枕屏風」が16年ぶりに展示されます。ぜひこの機会にご覧いただきたいと思っております。資料展示のほかに、諏訪地域振興局や当市役所の各課が関わっている諏訪湖に関する最新の取り組みなどをご紹介する機会にしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。展示解説は6月10日、7月8日でそれぞれ午後1時30分から30分程行います。申込みは不要ですので、その機会をとらえてお訪ねいただきたいと思っております。関連講演会は只今計画中ですので、明確になり次第、皆様にお知らせいたします。その他教育委員会関係の行事予定につきましては、お手元に配付したとおりです。

記者との質疑応答

○霧ヶ峰山林火災について

（記者）出火原因は、野焼きについてはどうなっているか。今回の火災を受けて、市として何か考えていることはあるか。

（市長）諏訪市と牧野組合の共同の企画として野焼きを継続しておりましたが、10年前にその火が防火帯を超えて大きな山林火災となり、220haほどを焼失するという経験があります。それ以降、諏訪市内では牧野組合も、諏訪市としても、野焼きは中断しております。今回の出火原因は野焼きではありません。不明です。出火点は茅野市地籍になりますが、ガボッチョ山の南側ということになりました。諏訪市としては、野焼きは草原を維持するための一つの有効な手段であることは承知しておりますが、より安全を確保できることが大事ということで、野焼きに代わって雑木処理を行っています。4月には牧野組合やボランティア、関係者の皆さん100名以上が集まって雑木処理をしたところがございます。この雑木処理は年に2回行っています。

（記者）今後ボランティアによる雑木処理で十分なのか、また別の手段を考えていくのか。

（市長）10年間雑木処理作業でエリアを決めて順次行ってきましたので、雑木処理あるいはスキの刈り取りなどもかなり効果があるものと思っております。具体的に野焼きと比較するという検証には至っておりません。霧ヶ峰の草原は、牧草を取ったり、牛や豚、馬を飼育したりする農業が続いており、牧野組合を持っている上桑原牧野、下桑原牧野、小和田牧野、農業協同組合の皆さんが牧草を採取することによって草原として維持してきました。その折には野焼きも行ってこられたと思われ、諏訪市と共同で火入れを行ってきた期間がありました。

10年前の経験を踏まえて、私としましては、大きな火災になった時に消火活動を指揮したり、県や自衛隊の防災ヘリコプター等の要請をしなければならぬ立場の市長として、火をつけることはいかなるものか、少し慎重にすべきではないかという思いで、野焼き、火入れは行っておりません。民間の牧野組合の皆様方が、しっかりと防火対策等をしながら、安全確保をした上で消防や行政と協働し野焼きをしたいと要望があった場合には、検討しなければいけないと思っております。

(記者) 民間の方から要望が上がれば検討し、協力していくのか。

(市長) 私個人とすれば点火する立場は違うと思っています。しかし、安全を確保することに対する協力等はやぶさかではないということです。

○新型コロナウイルス感染症5類への引き下げによる今後の観光振興について

(記者) 市長の展望は。

(市長) 5類になっても感染者数が極端に減ってきたのではなく、一定数の発症者が継続しております。感染リスクが高い、あるいは感染リスクの高い方々を目の前にする場面では感染対策をしっかりするというので、それぞれその場面で対応していただいている状況です。そうした中でもインフルエンザと同等の扱いになりましたので、経済的活動についてはペースを上げてといった局面にあると認識しております。コロナ禍だから何もできないという姿勢ではいけないだろうと、いざ回復したときにしっかり受け入れができる準備を進めるということで、「観光グランドデザイン」を策定し、昨年は観光庁の高付加価値化資金を使い、10数軒の温泉旅館や関係施設が高付加価値化のリフォームを実施いたしました。それによって高級感のあるお部屋も増え、すでにお客様も入っています。さらに、今年度の高付加価値化の観光庁のメニューにも手を挙げております。物価高騰により予定した工事が全部できなかったホテル、観光施設の方々も参入し予算要望をしております。昨年の観光経済新聞の「にっぽんの温泉100選」で上諏訪温泉が79位から36位にジャンプアップいたしました。ユニバーサルデザインで車椅子でも、心配なくお風呂に入ったり散策ができるとか、各観光施設の皆さんの取り組みや諏訪湖のイベント(カヤックや自転車道など)、スマートインターチェンジができる期待値も込めての評価だと思います。さらに、霧ヶ峰や諏訪湖周も含めて次なる時代の観光インバウンドを含めた対応、あるいは魅力のある観光商品の造成など、諏訪地域を着地点としたものが増えてきています。今までは通過点とも言われていましたが、着地点として観光を楽しんでいただく方向にシフトしていく流れの中にあるととらえており、ぜひ力を入れていきたいと思っています。

○諏訪市議会について

(記者) 議会との関係をどのように築いていきたいか。

(市長) 議員の皆様はそれぞれ市民の付託を受けられて、最終的な政策決定の一票を持っている大切な皆さんです。今までも丁寧に対応してきたつもりでおりますが、今までと少し会の構成は変わりがあったにしても、それぞれの会派の皆さん、あるいは個人の議員の方も大切な市民の代表者として丁寧に対応してまいりたいと思っています。

○諏訪市消防団について

(記者) 再編統合計画の予定はあるか。

(市長) 先週再編の検討委員会を立ち上げました。かねてから課題となっていた消防団の団員数や報酬の出し方、資機材の提供の仕方など、消防団の現場の声を聞きながら柔軟に対応してきたところではありますが、このエリアに関わる再編については、地域住民の皆さんや関係する近隣自治体の皆さん、多くの関係者の皆さんのご意見を承りながらでないとすぐにできないことなので、委員会を立ち上げました。回答いただくタイミングについては、また状況を見ながらということですので、ご承知いただきたいと思っております。

(総務部長) 以上をもちまして、5月の定例記者会見を閉会します。どうもありがとうございました。